

アンダーライン部分は2013年7月に追記しました。

服用に際して、必ずこの説明文書をお読みください。
また、必要な時に読めるよう大切に保管してください。

第②類医薬品

解熱鎮痛薬

頭痛・歯痛・生理痛

カイクイ[®]Zプラス (非ピリン系)

◆カイクイZプラスは、抗炎症作用をもつカンゾウ(甘草)末とビタミンB₆配合の胃にやさしい解熱鎮痛薬です。頭痛・歯痛・生理痛をはじめとするいろいろな痛みに対する鎮痛、発熱時の解熱などに優れた効果をすみやかにあらわします。



使用上の注意

❌ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります。)

- 次の人は服用しないでください。
(1)本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人
(2)本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人
- 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください。
他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬、乗物酔い薬
- 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください。
(眠気等があらわれることがあります。)
- 服用前後は飲酒しないでください。
- 長期連用しないでください。

🗣️ 相談すること

- 次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
(1)医師又は歯科医師の治療を受けている人 (2)妊婦又は妊娠していると思われる人 (3)授乳中の人 (4)水痘(水ぼうそう)若しくはインフルエンザにかかっている又はその疑いのある乳・幼・小児(15才未満) (5)高齢者 (6)薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人 (7)次の診断を受けた人 心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍
- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この説明文書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

関係部位	症 状	関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ	精神神経系	めまい
消 化 器	吐き気・嘔吐、食欲不振	そ の 他	過度の体温低下

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (ステーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症、 急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ(小膿疱)が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。

裏面もお読みください。

症状の名称	症 状
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
眠気
4. 5～6回服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この説明文書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

効能・効果

- (1)頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・月経痛（生理痛）・外傷痛の鎮痛
- (2)悪寒・発熱時の解熱

用法・用量

次の1回量を1日2回を限度とし、なるべく空腹時をさけて水又はお湯で服用してください。

年 齢	1 回量	1 日服用回数
15才以上（成人）	1 包	2 回まで 服用間隔は 6 時間 以上あけること
11才以上15才未満	2/3 包	
7才以上11才未満	1/2 包	
3才以上7才未満	1/3 包	
3才未満	服用しないこと	

〈用法・用量に関連する注意〉

- (1)定められた用法・用量を厳守してください。
(2)小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。

成分・分量

1日量2包（1包1,400mg）中

成 分	含 量	はたらき
アセトアミノフェン	600mg	速効的に痛みを抑え、熱を下げます。
エテンザミド	1,000mg	持続的に痛みを抑え、熱を下げます。
アリルイソプロピルアセチル尿素	120mg	鎮静作用により、痛みの不快感をやわらげます。
無水カフェイン	240mg	アセトアミノフェンやエテンザミドの鎮痛作用を助け痛みをやわらげます。またアリルイソプロピルアセチル尿素による眠気を軽減します。
ビスベンチアミン（ビタミンB ₁ ）	25mg	発熱時に消耗しがちなビタミンB ₁ を補います。
カンゾウ末	500mg	のどの炎症を抑えます。また胃粘膜を保護します。

添加剤：D-マンニトール、ヒドロキシプロピルセルロース、ポビドン、クエン酸水和物 含有

保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。(2)小児の手の届かない所に保管してください。(3)他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わるおそれがあります。)(4)1包を分割した残りを使用する場合には、袋の口を折り返して保管し、2日以内に使用してください。(5)配置期限を過ぎた製品は服用しないでください。

お問い合わせ先 株式会社 富士薬品（OTC学術室）
電話（048）648-1118 9：00～17：30（土、日、祝日を除く）

製造販売元 **株式会社 富士薬品**
埼玉県さいたま市大宮区桜木町4丁目383番地